



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9074 URL https://www.jot.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 松井 克浩 (TEL) 03 (5496) 7671
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	25,051	1.3	702	6.6	1,065	14.8	738	26.4
2019年3月期第3四半期	24,734	5.6	658	4.6	927	12.7	584	10.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 820百万円 (364.3%) 2019年3月期第3四半期 176百万円 (△87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	223.26	—
2019年3月期第3四半期	176.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,046	19,665	57.8
2019年3月期	33,279	19,110	57.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 19,665百万円 2019年3月期 19,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2020年3月期	—	40.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,200	2.8	1,200	18.9	1,500	14.0	1,000	20.2	302.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	3,322,935株	2019年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	14,779株	2019年3月期	14,696株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	3,308,193株	2019年3月期3Q	3,308,329株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が継続した一方で、海外経済の不確実性の高まりや、大型台風による自然災害の影響等もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましては、国内の石油製品需要が長期的に減少傾向にあるなか、乗務員不足を背景とした人件費等の経費の増加もあり、依然として厳しい状況におかれています。

このような状況のもと、当社は、中期経営計画(2017年度～2019年度)の達成を目指して、輸送シェアの維持・拡大を通じた収益力の強化、LNG(液化天然ガス)輸送、水素輸送、化成品における海外輸送等の成長分野の推進等に取り組みました。

また、こうした取り組みと並行し、安定輸送の継続に向け、雇用環境の改善等による乗務員の確保や車両の拡充にも注力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は25,051百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は702百万円(同6.6%増)となりました。また、受取配当金の増加等により、経常利益は1,065百万円(同14.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は738百万円(同26.4%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(石油輸送事業)

石油輸送事業につきましては、自然災害による貨物列車の運休等の影響を受け、売上高は12,040百万円(前年同期比0.4%減)となりました。また、人件費および車両投資に伴う経費の増加により、営業利益は363百万円(同39.0%減)となりました。

(高圧ガス輸送事業)

高圧ガス輸送事業につきましては、LNG輸送において、出荷地変更や鉄道輸送の一部終了等から減収となりましたが、主要顧客の運賃改定およびLPG(液化石油ガス)輸送等の増収により、売上高および営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は6,259百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は89百万円(前年同期は24百万円の営業損失)となりました。

(化成品・コンテナ輸送事業)

化成品輸送事業につきましては、国内輸送における新規案件の獲得や主要顧客の運賃改定に加え、海外輸送における料金見直しへの取り組みが進捗し、売上高および営業利益は増加いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、今年度も自然災害の影響を受けましたが、昨年度の減収分の反動や、使用料改定による増収があり、売上高および営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は6,615百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は199百万円(同518.1%増)となりました。

(その他事業)

太陽光発電事業につきましては、天候不順の影響のほか、大規模な定期点検を実施したため、売上高および営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は136百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は50百万円(同10.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は34,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ767百万円増加いたしました。

流動資産は6,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは季節変動により受取手形及び売掛金が増加したものの、設備投資により現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は27,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ788百万円増加いたしました。これは主に設備投資により固定資産が増加したことに加え、時価評価により投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は14,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等や賞与引当金が減少したものの、設備投資によるリース債務が増加したことによるものであります。

純資産は19,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ555百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金が増加したことに加え、時価評価によるその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ上昇し、57.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日の決算発表にて公表いたしました業績予想値より変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,046	1,448
受取手形及び売掛金	3,672	4,183
その他	652	717
流動資産合計	6,371	6,349
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,034	4,355
コンテナ(純額)	3,232	2,959
土地	5,513	5,828
リース資産(純額)	6,213	6,489
その他(純額)	2,161	2,098
有形固定資産合計	21,155	21,731
無形固定資産		
その他	98	210
無形固定資産合計	98	210
投資その他の資産		
投資有価証券	4,437	4,544
その他	1,216	1,209
投資その他の資産合計	5,653	5,754
固定資産合計	26,908	27,697
資産合計	33,279	34,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,021	2,082
短期借入金	538	501
未払法人税等	216	152
賞与引当金	696	348
役員賞与引当金	100	74
その他	3,334	3,695
流動負債合計	6,908	6,853
固定負債		
リース債務	4,559	4,732
修繕引当金	286	326
退職給付に係る負債	1,583	1,616
その他	830	852
固定負債合計	7,260	7,528
負債合計	14,169	14,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	16,412	16,886
自己株式	△35	△35
株主資本合計	18,328	18,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	908	959
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	△127	△96
その他の包括利益累計額合計	781	862
純資産合計	19,110	19,665
負債純資産合計	33,279	34,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	24,734	25,051
売上原価	22,607	22,773
売上総利益	2,126	2,278
販売費及び一般管理費	1,468	1,576
営業利益	658	702
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	114	190
固定資産賃貸料	194	226
固定資産売却益	39	41
持分法による投資利益	48	34
雑収入	59	43
営業外収益合計	456	536
営業外費用		
支払利息	54	55
固定資産賃貸費用	65	67
固定資産除売却損	27	26
雑損失	40	24
営業外費用合計	187	173
経常利益	927	1,065
特別利益		
固定資産売却益	—	71
特別利益合計	—	71
特別損失		
固定資産除売却損	—	23
抱合せ株式消滅差損	—	5
その他の投資評価損	4	—
減損損失	11	—
特別損失合計	15	29
税金等調整前四半期純利益	912	1,106
法人税等	327	368
四半期純利益	584	738
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	584	738

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	584	738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△425	52
繰延ヘッジ損益	2	△0
退職給付に係る調整額	16	30
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△2
その他の包括利益合計	△407	81
四半期包括利益	176	820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176	820
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,083	6,099	6,411	139	24,734	—	24,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	354	3	69	—	427	△427	—
計	12,437	6,103	6,480	139	25,161	△427	24,734
セグメント利益又はセグメント損失(△)	595	△24	32	56	658	—	658

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「石油輸送」セグメント、「高压ガス輸送」セグメント、「化成品・コンテナ輸送」セグメント及び各報告セグメントに配分していない全社資産において、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「石油輸送」セグメントで7百万円、「高压ガス輸送」セグメントで1百万円、「化成品・コンテナ輸送」セグメントで0百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産で1百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,040	6,259	6,615	136	25,051	—	25,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	345	3	59	—	407	△407	—
計	12,385	6,262	6,674	136	25,459	△407	25,051
セグメント利益	363	89	199	50	702	—	702

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。